

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2016-82647 (P2016-82647A)
 【公開日】平成 28 年 5 月 16 日 (2016.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-029
 【出願番号】特願 2014-210011 (P2014-210011)
 【国際特許分類】

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 M 3/155 P

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

昇圧調整回路は、電流検出回路が検出した検出電流が電流 I_1 よりも小さい場合に N を上昇させ、検出電流が電流 I_1 よりも大きい場合、 N を低下させる。降圧調整回路は、検出電流が電流 I_2 よりも小さい場合に M を上昇させ、検出電流が電流 I_2 よりも大きい場合に M を低下させる。 N 又は M の上昇によって出力端子対間に流れる電流は上昇し、 N 又は M の低下によって出力端子対間に流れる電流は低下する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

本発明にあっては、生成回路は電圧 V_2 を分圧することによって電圧 V_1 を生成する。このため、電圧 V_2 が調整された場合、電圧 V_1 も自動的に調整される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 5 】

トランジスタ 50 がオンである場合、抵抗 R_{51} と、抵抗 R_{50} 及び前述の直列回路が並列に接続された並列回路とが電圧 V_{cc} を分圧し、分圧した電圧 V_{t2} が抵抗 R_{53} を介してコンデンサ C_{50} の両端に印加される。電圧 V_{t2} を抵抗 R_{52} 、 R_{54} が分圧し、分圧した電圧 V_{t1} が抵抗 R_{55} を介してコンデンサ C_{51} の両端間に印加される。電圧 V_{t2} を分圧することによって電圧 V_{t1} が生成されているため、電圧 V_{t2} は電圧 V_{t1} よりも高い。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 6 】

また、変圧装置 1 は、ダイオード D 1 の代わりに第 1 スイッチが設けられ、ダイオード D 2 の代わりに第 2 スイッチが設けられている構成であってもよい。この場合、降圧動作は、F E T 1 0 をオンにすると共に第 1 スイッチをオフにし、F E T 1 0 をオフにする共に第 1 スイッチをオンにすること、即ち、F E T 1 0 及び第 1 スイッチを相補的にオン / オフすることによって行われる。更に、昇圧動作は、F E T 1 1 をオンにすると共に第 2 スイッチをオフにし、F E T 1 1 をオフにすると共に第 2 スイッチをオンにすること、即ち、F E T 1 1 及び第 2 スイッチを相補的にオン / オフすることによって行われる。